

< パリエアショー2005 出展報告 >

NEC 東芝スペースシステム株式会社
営業本部 ソリューション事業推進部
坂上謙太郎

日本航空宇宙工業会 (SJAC) 参加企業としてパリエアショー2005 に出展参加致しましたので、概要報告致します。



1. エアショー全体の状況

- 正式名称: 第46回パリ航空ショー (46th International Paris Air Show)
- 会期: 6/10 ~ 6/12 (会場設営)
6/13 ~ 6/16 (トレードデー)
6/17 ~ 6/19 (パブリックデー)
6/20 ~ 6/21 (撤収)
- 会場: フランス/パリ/ル・ブルジェ見本市会場
- 出展者数: 1,916 (2001年の1,856を抜いて過去最高)
- 来場者数: 約48万人 (2001年の43万人を抜いて過去最高)
なお、パブリックデー初日である17日は金曜日であるにもかかわらず、午前中に13万人が来場し、午後には入場制限を行った。

2. SJAC ブースの状況

- 参加企業:
(社)日本航空宇宙工業会 (SJAC) および会員企業 12 社 (下記)
(株)IHI エアロスペース、石川島播磨重工業 (株)、カヤバ工業 (株)、川崎重工業 (株)、
(株)島津製作所、新明和工業 (株)、住友精密工業 (株)、ナブテスコ (株)、富士重工業 (株)、三菱重工業 (株)、三菱マテリアル (株)、NEC 東芝スペースシステム (株)
- 展示場所:
ホール 4 E-5、商談コーナを含め 340m²
- 来場実績:
SJAC ブースへの来場者は3万人を超え (過去最高)、企業のみならず、政府関係機関および一般が多数来場し交流を実施した。なお、今回の SJAC ブースは、中央に比較的広いスペースを設けるとともに会場内全体を明るくす



学会便り

るべく照明等を工夫したことも来場者数増加に寄与したと考える。また、目的別来場者(名刺交換等の具体的訪問)としては、約 1000 名であり、中でも情報収集および広報目的が多かったが、具体的商談数も 70 件を超え過去最高であった。

3. 当社ブースの状況

世界最大の航空ショーという呼称から推測できるように圧倒的に航空機関連がメインであるが、国内衛星プライムメーカ代表として当社が出展した。展示品は、海外・商用拡販を狙った下記アイテムである。

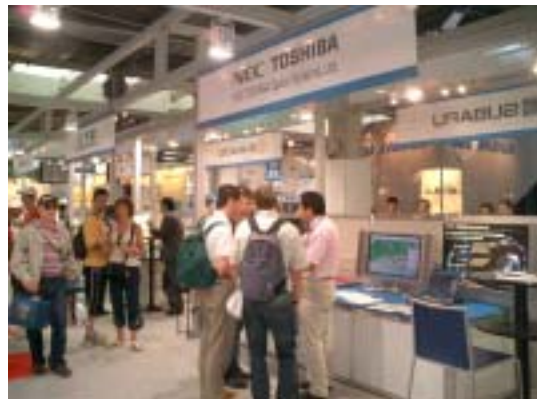


- ダウンコンバータ 2 台 (Ka/Ku)
- SRD (Smart Radiation Device: 放射率可変素子)
 - ・ 太陽光反射タイプ、厚膜タイプ、バルクタイプ
- RSGIS 関連
 - ・ 3D スカイトレック、テラクルーザ、ジオアース

宇宙関連としては、欧州企業 (Alcatel Space、EADS astrium、Arianespace、Snecma および ZODIAC/IN-SNEC 社等) が多く訪問し、情報交換および商談を実施した。また、多くの欧州部品メーカが衛星プライムメーカへの売込として自社パンフレットを持参して訪問してきた。

パブリックデーにおいても、自費で近郊 (フランス国内のみならず、ドイツ、イタリアからも) より訪れた宇宙関連企業のエンジニアも多く、非常に熱心に情報収集していった。

当社ブース訪問者数は総数 400 名を超え、具体的案件数 30 件、受領した名刺は 200 枚を超えた。



4. その他

今回のメインはなんと言っても、エアバス A380 であり、デモフライト時にはほとんどの来場者が見学に行く為、展示ブースは一時的にほぼ空の状態になった。また、欧州独特のデザインに優れたブースは非常に洗練されており、つつい立ち寄ってしまう魅力がある。「まずは興味を引き」「引き込んでから十二分にアピールし」「具体的商談に持ち込む」;まさに展示イベントにおける営業手法の王道であり、この辺は参考にしたい。



以上。